

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 602 12月号 2017年 1部60円 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

憲法9条守り抜き、無差別平等の医療・介護を地域の共同を強め、強く大きな友の会に



代々木健康友の会 会長 布施 仁



副院長 高津 司



代々木歯科所長 山内真人

11月5日、全理連ビルで代々木健康友の会の定期総会が開かれ、130人が参加しました。代々木健康友の会の布施仁会長が開会あいさつに立ち、11月3日におこなわれた安倍政権による9条改憲に反対する国会包囲の大作に病院の仲間たちと友の会も参加したことに触れ、友の会としても9条を変えさせない運動を盛り上げていく決意を述べました。各界から多くの来賓が出席、高津司代々木病院副院長は、12年ぶりに代々木病院に戻ってきたと発言、大きな拍手で歓迎されました(詳しくは3面に掲載)。山内真人代々木歯科所長は、よりよい歯科をめざしている活動を紹介しました。



総会参加者

第51回代々木健康友の会定期総会開催



代々木総合法律 久保亮介 弁護士

日本共産党の山添拓参議院議員は、総選挙の結果にふれ、大きなお力添えをいただきたいが、力不足で議席を増やすことができなかった。しかし、立憲勢力が前進し「市民と野党の共闘」が大きな成果をおさめたことを報告、憲法守り、安保法制廃止にむけてあきらめないで頑張る決意を述べた。

「無差別平等の医療・介護」を厳しく批判、世論と運動で築地を守ろうと呼びかけました。 続いて、代々木総合法律事務所の久保亮介弁護士が特別講演に立ち、「9条改憲にどう立ち向かうか」について報告しました。安倍首相の改憲の狙いについて述べ、今後、改憲議論を許さないたたかいが焦点になる。9条改憲にどう立ち向かうか。平和を守る、9条を守る本気度が試される。何を語るか、9条改憲は殺し、殺される可能性を高め、これを受け入れないと語る本気の対話が重要。「3000万署名」を手に、自分の言葉を携えて語りつこうと訴えました。

9条改憲発議をさせない大きな世論を

小池知事が「食の安全、安心を守ります」、「築地は守る、市場機能は守る」との公約を破り「豊

清見温子友の会事務局長が、50回記念総会から、あらゆる活動で前進させようと呼び返り、地域の支えあいの活動では、送迎活動にのべ457人が利用、地域の居場所である「げんき食堂」はのべ560人が利用、「ヨ



日本共産党 山添 拓 参議院議員



日本共産党 大山 とも子 都議会議員団長

「地域との共同」で健康づくりと仲間増やしを

参加者から、「友の会9条の会」の活動の強化を求める意見や「歩き力メラ」などの友の会活動に参加して有意義な時間を過ごせたなどの感想が述べられました。

決算報告と予算案の提案を伊香忠志友の会副会長が、会計監査報告を加藤茂監査がおこなった。質疑応答、討論に入りました。 さらに、運動をさらさら発展させようと呼びかけた特別決議を採択、新役員の提案、選出、最後のフィナーレは何となく代々木病院職員合唱団「バンブー」の歌声でした。小崎征子友の会常任幹事が閉会のあいさつ、来賓のみなさんには力強いお言葉をいただき、元気をもらった総会となりました。 (友の会事務局長 伊香忠志)



新役員の紹介

千駄の萱

一年はあっという間で、早いもので師走となりました。皆さんにとって、2017年はどんな年でしたか。▼私事で申し訳ありませんが、今年の五月、我が家に第一子が誕生しました。目下育て奮闘中ですが、この子が生きて行く時代はどんな時代なのだろうか、考えることがあります。▼日本にとって2017年は、また一歩(とても大きな一歩です)、戦争への道を進んだ年だったと言えます。憲法改正がいよいよ現実のものとなるうとしています。我々は、日本が他国と競争するということか、どのようなことなのか、真剣に想像してみなければなりません。政府は「普通に」戦争ができる国にしたいようですが、戦争は普通ではありません。そんな国ではなく、普通に議論ができ、普通に家族で笑い合える、普通に恋愛ができる、そして、不当に人を殺すことも殺されることもない、そんな普通の国を目指すべきです。そして、あくまでも最後に歯止めを掛けられるのは我々国民でしかないということをお自覚するべきです。▼2018年が皆さんにとって良い年となりますように。(け)